

新規事業採択時評価結果（平成18年度新規事業化箇所）

事業の概要

事業名	一般国道218号 北方延岡道路（延伸）	事業区分	高規格	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	起点：宮崎県東臼杵郡北方町大字蔵田 終点：宮崎県東臼杵郡北方町南久保山	延長	4.6km		
事業概要	<p>一般国道218号北方延岡道路は宮崎県延岡市北方町と宮崎県延岡市天下町間を国道218号と並行して結ぶ、延長約13kmの自動車専用道路である。</p> <p>北方延岡道路（延伸）は、北方延岡道路の西端を構成し、北方ICと国道218号を円滑に結ぶ延長約4.6kmの区間である。</p>				
事業の目的、必要性	<p>北方延岡道路（延伸）は、現国道218号並行区間の平面線形及び縦断勾配の不良箇所を解消するとともに、平成17年度に発生した台風14号のような災害時において、国道218号の代替道路となり、県北地域と熊本方面を結ぶ唯一の緊急輸送道路1次ネットワークとしての機能発揮に大きく寄与する事業である。</p> <p>また、延岡以西地域から3次医療施設である県立延岡病院への所要時間が短縮されることから救命率の向上等住民の安心・安全が確保される。</p> <p>更に、将来的には九州横断自動車道延岡線と一体となった広域ネットワークを形成することにより、地域内外の交流活発化を支援し、宮崎県北地域の暮らしや産業振興を支えることも期待されている。</p>				
全体事業費	123億円		計画交通量	10,700台/日	
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見
 北方延岡道路（延伸）は、災害時等におけるリダンダンシー確保や北方町以西地域への医療圏域の拡大等のために必要不可欠な道路であることから、「九州横断自動車道延岡線建設促進沿線議会協議会」「延岡道路・北方延岡道路建設促進期成会」「九州横断自動車道延岡線建設促進沿線議会期成会」等より早期整備の要望を受けている。

事業採択の前提条件
 費用対便益：便益が費用を上回っている。
 手続き関係：都市計画決定済（H18.2.13）

事業評価結果

担当課：道路局国道・防災課
 担当課長名：鈴木 克宗

費用対便益	B/C	2.7	総費用：99億円 （事業費：83億円 維持管理費：16億円）	総便益：267億円 （走行時間短縮便益：213億円 走行費用減少便益：39億円 交通事故減少便益：15億円）	基準年：平成17年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=2.43（交通量-10%）	B/C=2.96（交通量+10%）		
		事業費変動	B/C=2.49（事業費+10%）	B/C=2.95（事業費-10%）		
	事業期間変動	B/C=2.48（事業期間+20%）	B/C=2.93（事業期間-20%）			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—	緩和効果はあるが、注目すべき影響は無い。 【渋滞損失時間の改善】並行区間7.4万人時間/年（現況） 削減率100%（削減量7.4万人時間/年） 【1kmあたり渋滞損失時間】並行区間0.4万人時間/年（現況） 宮崎県平均0.7万人時間/年（0.6倍）		
		事故対策	○	死傷事故率の高い区間の事故減少が見込まれる。 【死傷事故率】単路部：62.8件/億台km（死傷事故率比1.8倍（県内平均34件/億台km）） 交差点部：259.0件/億台km（死傷事故率比4.0倍（県内平均件65件/億台km））		
		歩行空間	—	注目すべき影響は無い。		
	社会全体への影響	住民生活	○	3次医療施設県立延岡病院への時間短縮に寄与。 （日之影町～県立延岡病院 現況60分 → 将来延伸無44分 → 将来延伸37分）		
		地域経済	—	注目すべき影響は無い。		
		災害	◎	台風水害等により通行止めが発生し迂回困難な現道218号の代替路として、また信頼性の高い緊急輸送道路1次ネットワークとしての機能強化が図られる。		
環境		○	走行性の向上及び走行距離の短縮等により自動車からのCO2排出量が1,927t-CO2/年抑制される。			
	地域社会	○	日常活動圏中心都市間の連絡強化 （延岡～高千穂間 現況76分 → 将来延伸無60分 → 将来延伸53分） 主要観光地である高千穂町との時間短縮による観光交流の拡大			
事業実施環境	○	平成18年2月13日、都市計画決定済み。				

採択の理由

費用対便益が3.5と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。
 また台風等の災害時において通行止めにより地域間の道路が寸断されてしまっている現国道218号の代替路線として緊急輸送道路1次ネットワークとしての機能強化が図られ、更には3次医療施設である県立延岡病院への時間短縮が予想されていることから住民生活に密接に関わる事業効果を発揮する事が期待できるため当該事業の整備の必要性・効果は高いと判断される。
 以上により、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。